

ご相談窓口のご案内

弊社商品をご購入ありがとうございます。製品の使い方相談、修理相談については下記の窓口をご利用ください。

なお、修理をご依頼される際は、「取扱説明書」に記載の「こんなときは／故障かな？と思ったら」などを一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名(表紙右上表示)、② お買上げ日、購入店がわかるレシート、領収書等を必ずご用意下さい。

③故障、不具合状況によっては一緒に電話口にて動作確認させていただきますので、製品を近くにご用意ください。

※出張での使い方の説明、修理はおこなっていませんので、ご了承ください。

ホームページで
製品サポート情報や、お問い合わせについてご覧いただけます。
<http://www.tohshoh.jp>

使い方／修理相談窓口

電話 048-997-2244

FAX 048-997-2082

cs@tohshoh.jp

受付時間 月～金 9:30～17:30 休業日 土・日・祝日

株式会社とうしょう カスタマーサービス
〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曾根1442-1

保証書

※お買上げ日、購入店がわかるレシート、領収書を添付し大切に保管ください。

品名	レトロ調木製多機能レコードプレーヤー		型番	DS-618A
お客様	お名前	ご住所		
	電話番号 ()			
お買上げ日	年 月 日	取扱販売店名・住所・電話番号		
保証期間 (お買上げ日より)	本体1年 (但し消耗品は除く)			

＜無料修理規定＞

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買上げの販売店にお申し付けください。なお、出張修理はおこなっておりません。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ②お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷。

- ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。
- ④異常電圧、電気の供給トラブル等に起因する故障及び損傷。
- ⑤用途以外で使用した場合の故障及び損傷。
- ⑥本書のご提示がない場合。
- ⑦本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

＜製品部品の保有期間＞ 部品の保有期間は製品製造終了から6年間です。

※一年間は無料修理を行います。但し、お買上げより一ヶ月間が過ぎてからの修理依頼に関して、弊社への送料はお客様ご負担にてお願いします。尚、修理完了後の送料は弊社負担にて発送させていただきます。

型番：DS-618A

レトロ調木製多機能レコードプレーヤー

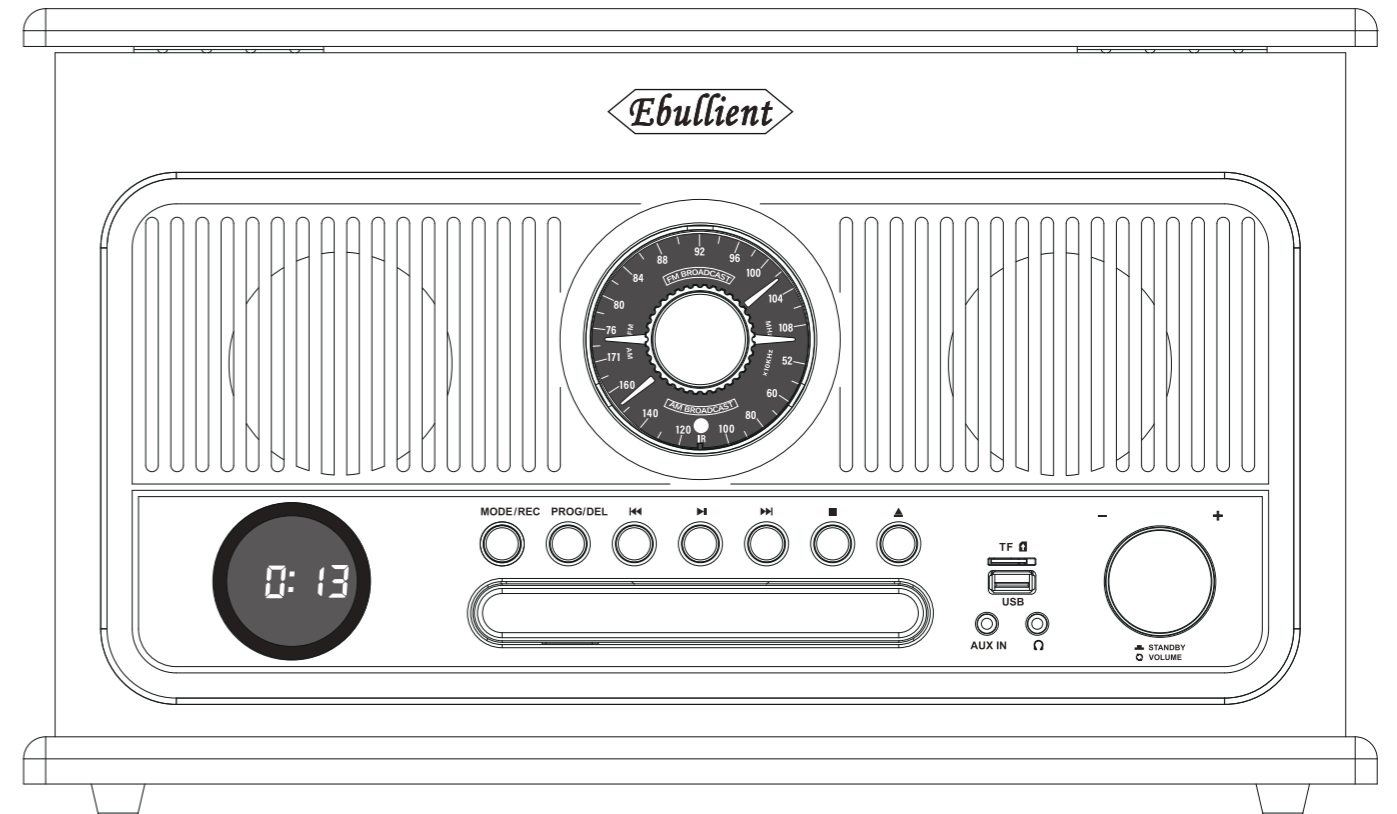
取扱説明書(保証書付)

ご使用前に必ずお読み下さい！

このたびは、お買上げいただきありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。



輸入元：株式会社とうしょう

住所：340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曾根 1442-1

カスタマサポート TEL：048-997-2244

目次

■目次	2	■便利な機能 (CD/USB/microSD共通)	11
■主な仕様	2	■カセットデッキの使用方法	12
■付属品	2	■ラジオの使用方法	13
■安全上のご注意	3	■外部入力 (AUX) の使用方法	13
■使用上のご注意	4	■Bluetooth の接続方法	13
■各部の名称	5、6	■USB/microSDへの録音方法	14
■レコードプレーヤーの使用方法	7、8	■USB/microSDの消去方法	15
■CDプレーヤーの使用方法	9	■故障かな?と思ったら	15
■USBメモリー/SDカードの使用方法	10		

主な仕様

製品共通	定格入力	AC100V 50/60Hz
	消費電力	30W
	最大外形寸法(約)	幅: 430 × 奥: 338 × 高: 256mm
	本体質量(約)	6.2kg
	電源コード長(約)	1500 mm
	製品材質	MDF合板、PVC樹脂
スピーカー	実用最大出力	5W + 5W
AM/FMラジオ	受信可能周波数	AM: 540 ~ 1700kHz FM: 76 ~ 108MHz
レコードプレーヤー	回転数	33/45/78
	レコード針材質	サファイア (交換目安:LP盤 100枚 / 100時間)
CDプレーヤー	再生対応ディスク	AUDIO CD、CD-R/RW
microSD	対応メディア ディスク容量	SD,SDHC,CLASS4 (4GB ~ 16GB 対応) 推奨 4GB/ 約 4分計算で約 1000曲録音可能)
USB	対応メディア ディスク容量	SD,SDHC,CLASS4 (4GB ~ 16GB 対応) 推奨 4GB/ 約 4分計算で約 1000曲録音可能)
外部出力	外部出力端子	ピンジャック端子 アンプ内蔵スピーカーへ接続

付属品

※箱を開けたら、以下のセット内容を必ず確認してください。

- ① 本体
- ② リモコン
- ③ ACアダプター
- ④ 45回転 EP(ドーナツ盤)用アダプター ※本体上面レコードプレーヤー部に収納されてあります。
- ⑤ 取扱説明書 (保証書付)



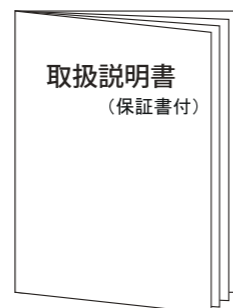
リモコン
テスト用単四
乾電池同梱



EP(ドーナツ盤)用アダプター
※ターンテーブル上部にセッ
トされています。



ACアダプター



取扱説明書
(保証書付)

USB/microSDの消去方法

- USB/microSDカードに録音した音楽は消去する事が可能です。
- 一度消去した音楽は復元できません。下図を参照し十分ご確認の上消去して下さい。

基本操作

- ①削除したい曲の入ったUSBまたはSDカードをセットし、再生または停止中に PROG/DEL ボタンを長く押すことで削除モードになります。
- ②下の一覧を参照し希望の削除方法で本体の操作を行い ONE(1曲) / FOLD(FOLDER 毎) / ALL(全ての曲) の削除設定をします。再度 PROG/DEL ボタンを長く押す事で削除が実施されます。

※本体状態の違いによる削除動作の振る舞い



故障かな?と思ったら

CDプレーヤー	再生できない 音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の電源スイッチはONになっていますか? ●機能切替はCDになっていますか? ●CDのオモテ側を上向きに、正しく挿入されていますか? ●CDの読み取りレンズが汚れている可能性がありますので専用クリーナーできれいにしてください。
レコードプレーヤー	ターンテーブルが回らない	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の電源スイッチはONになっていますか? ●機能切替はレコードになっていますか?
	音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●レコード針保護カバーを前方向にスライドさせ、外してありますか?
カセットテープ	音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の電源スイッチはONになっていますか? ●テープは正しく録音されたものですか? ●機能切替はテープになっていますか? ●再生ヘッドが汚れていませんか?
USB/microSD	再生できない 録音できない	<ul style="list-style-type: none"> ●他の音楽レコーダーやPC、デジカメ等で記録されたUSB/SDはフォーマットの違いにより再生・録音ができない場合があります。新しいUSB/SDをご使用下さい。

USB/microSDへの録音方法

●本機ではレコード / カセットテープ / CDなど各音源をUSBメモリーまたはmicroSDカードに録音が可能です。



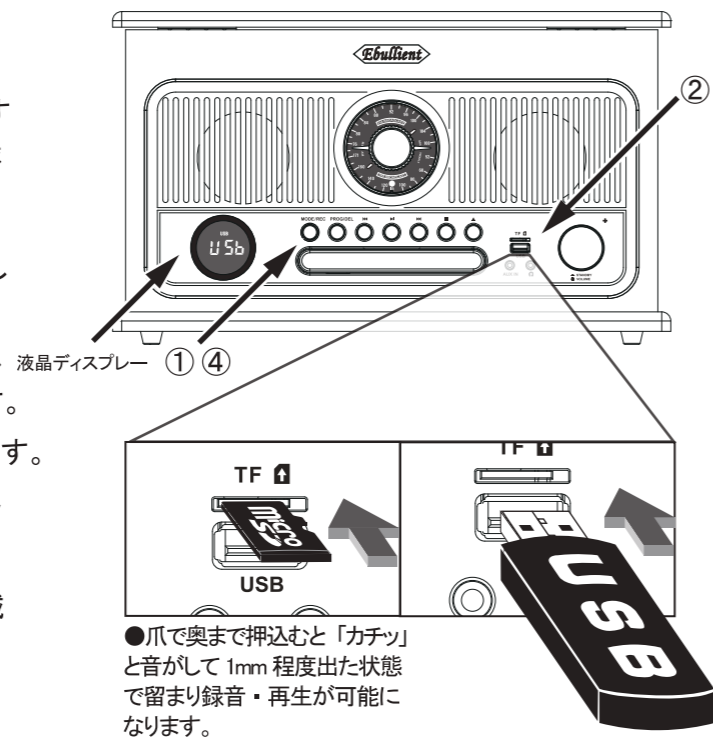
Point! USB/microSDに録音する場合は、本機を音源の機能に切り替えて録音操作をして下さい。USB/microSDの機能のままでは録音は出来ません (USB・SDの相互録音を除く)

- ①9-1モード切替 / 録音ボタンを短く押し録音先のUSBもしくはSDに合わせます。
- ②USBもしくはSDを何れかのスロットに挿込みます
何も録音されていない場合はnoが教示され、録音されている場合は01曲目が再生されます。
※ここでは録音に使うUSB/SDかどうかを確認して下さい。
- ③挿し込んだUSB/SDに間違いなければ、録音したい音源の機能に切り替えます。
- ④各機能の操作方法を確認し再生の準備が完了したら9-1モード切替 / 録音ボタンを**長押し**します。
- ⑤右の【詳細】図を参照して録音条件をセットします。
- ⑥詳細1~2(CD/USB/SDは詳細1~3)までセットが完了したら9-4.MODE/RECボタンを短く押し録音をスタートさせます。
RECマーク及び録音先のUSB/SDマークが点滅すれば録音状態です。音源を再生して下さい。
※CD/USB/SDは自動で再生がスタートし録音されます。
- ⑦録音を終了する時は9-6 停止ボタンを押します。

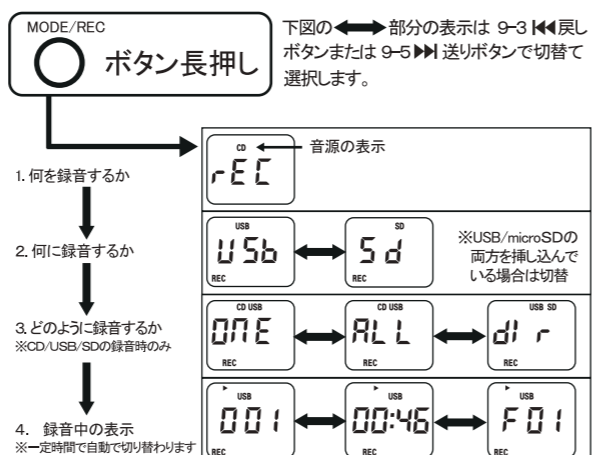
Point!

- CDの録音及びUSB⇔SDの相互録音の場合は1曲毎にトラックが分かります。また曲の途中で録音ボタンを押しても曲の最初から録音が始まります。
- レコード・カセット等アナログ音源の録音は1曲毎にトラックは分かれません。トラックを分けて録音する場合は1曲毎に④~⑦を繰り返して下さい。また曲の途中で録音ボタンを押した場合はそこから録音が始まり曲の途中からの録音になります。
- USB/SDへの同時録音は出来ません。両方を挿した状態でも録音の手順の中でどちらかを選択する項目があります。
※画面の遷移は右図をご確認下さい。
- 録音されたファイルは音源毎に以下のフォルダに格納されます。

- BT_REC -Bluetoothからの録音
- PHON_REC -レコードからの録音
- CDIN_REC -CDからの録音
- tape_REC -FMからの録音
- COPY_REC -USB/microSDからの録音
- FM_REC -FMからの録音



【詳細】録音時の操作と画面遷移



安全上のご注意

※電気製品は、正しく取り扱うことで安全にお使いいただけます。ご使用前に次の注意事項をよくお読みになり、必ずお守りください。※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、「警告」と「注意」に区分しています。

- 【記号の意味】
- △ の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
 - ⊘ の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。
 - の記号は「しなければならない行為」を示します。

- 警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください(有料)。そのまま使用すると火災等の原因となります。

警告

- ⊘ ●100V以外禁止
交流100V以外の電圧では使用しないでください。自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。
- ⊘ ●電源コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントを抜いてください。

注意

- ⊘ ●ぐらついた台や傾いた所に置かない
落下し、ケガ・故障の原因になります。
- ⊘ ●温度の異常に高い場所で使用しない
通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。
- ⊘ ●調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。
- ⊘ ●駐車中の自動車内など、高温になる場所で保管しない
樹脂部品の変形の原因になります。
- ⊘ ●電源コードをコンセントから抜く
長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
- ⊘ ●電源を切る前には音量を下げる
再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。

- ⊘ ●電源コードを傷つけない
破損し、火災・感電の原因になります。
- ⊘ ●分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。
- ⊘ ●禁止
CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
- ⊘ ●水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにし、水がかかるような場所では使わないでください。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。
- ⊘ ●禁止
内部に小さな金属類(ヘアピンなど)や燃えやすいものをいれないでください。火災・感電の原因となります。
- ⊘ ●ぬれ手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。
- ⊘ ●本体の通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となる場合があります。

使用上のご注意

本製品は精密機械です。熱・水・湿気・埃や砂・衝撃により故障・破損・変形する事がありますので、以下の点にご注意ください。

- 防水性能はありません。水濡れによる故障、湿気・結露等による基盤腐食が原因の故障は修理が出来ず保証対象外となります。
- 夏場の暑い車内や海岸などの直射日光のあたる高温の場所に放置するとキャビネットの変形や故障の原因となります。
- 海岸など砂・埃の多い屋外での使用は故障の原因となります。本体のお手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。洗剤やアルコールなどのご使用はキャビネットの変質・故障・破損の原因となります。
- 本製品は精密機械です。落下や振動など強い衝撃を与えないでください。落下などによる故障は修理ができず保証対象外となります。

結露について

本機が冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり急激に室温を上げると、本体内部の動作部に露が生じ（結露）本機の性能が発揮できなくなることがあります。その場合は1時間ほど放置するか徐々に室温を上げてからご使用下さい。

CDの取扱いについて

- 本機で再生可能なディスクは右のマークのある市販の音楽CD、もしくはCD-R/CD-RWです。（CD-DA[Compact Disc Digital Audio]形式のみ）
- ※CD-R/CD-RWは記録されたデータ形式によっては再生できません。
- ※MP3/CDG/CDV/CD-I/CD-ROM/DATA-DISC/DVD/BDは使用できません。
- ※コピーガード付きCD（CCCD等）は再生できない場合があります。

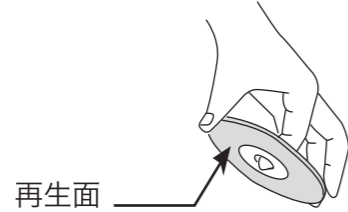
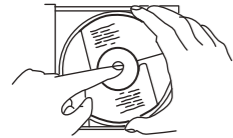


ディスクの取扱いについて

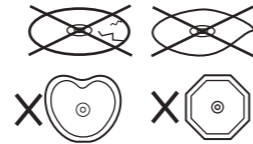
ケースから出すときはセンターホルダーを押さえ、再生面に触れないように持って取り出します

再生面には手を触れないで下さい

ケースにしまうときは印刷面を上にして、上から押さえて入れます



- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですので絶対に使用しないでください。
- 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
- ハート型や八角形などの特殊形状のディスク、シールなどが貼付されたディスクは使用しないでください。故障の原因となります。



ディスクのお手入れについて

- ・お手入時はシンナーやベンジン、アナログレコード盤用クリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。
- ・CDを拭くときは柔らかいタオル等をご使用ください。ティッシュペーパーはディスクに細かな傷がつくので使用しないでください。
- ・CDを拭くときは、中心から外側に向かって放射状にまっすぐ拭いてください。CDは同心円状の傷に極端に弱いので、レコードのように円に沿って拭くと再生が出来なくなる可能性がありますのでご注意ください。

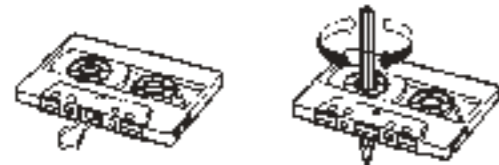


ディスクの保管方法

- ・直射日光の当たる場所や温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ・ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

カセットテープの取扱いについて

- 再生中に音が鈍くなった時は、まれに酸化物や異物がテープに付着している場合があります。その場合は、ヘッドクリーニングのご使用をおすすめします。その際、摩擦を起こす恐れがありますので使いすぎにはご注意ください。
- 先のとがったもので付着物をはがそうとしないでください。
- テープがたるんでいると絡まり、テープにダメージを与える場合があります。下図のように鉛筆などで直してからご使用ください。



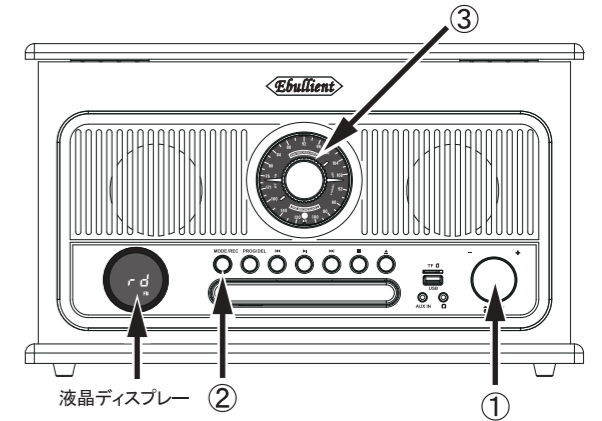
- 古いテープは絡まりやすく、テープにダメージを与えますので使用しないでください。
- テープの巻きつきがきつと感じるときは、テープの窓の線が詰まっているように見えます。そのときは、一度テープを早送り、巻戻ししてください。
- 温度や湿度が高い所や、ほこりが多い場所には長時間放置しないでください。
- 60分以上の長時間テープをご使用ならないでください。長時間テープは薄く伸びやすいため、テープが巻き込まれる場合があります。
- TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。

<大切な録音を守る一誤消去防止>
ツメを折ると録音ができなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスを防ぎます。
穴をセロハンテープなどでふさげば、再び録音ができます。

ラジオの使用法

準備 本体背面にあるFMアンテナを解き、高い位置など受信しやすい場所にテープ等で固定して下さい。チューニング後もきれいに受信できる位置に微調整を行って下さい。

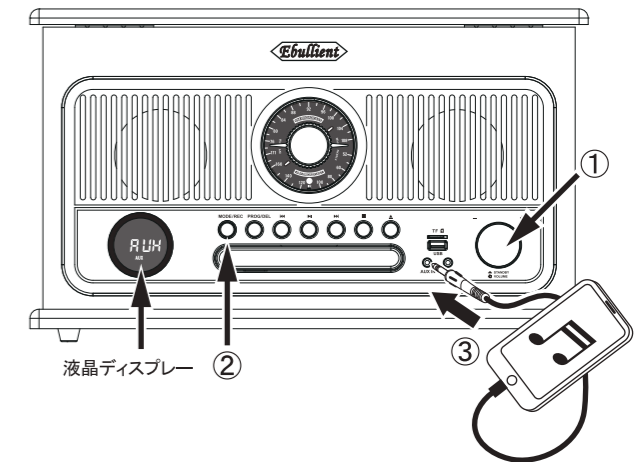
- ①前面パネルの「電源ボタン（音量ダイヤル）」を押して電源を入れます。ディスプレイが点灯します。
- ②9-1モード切替ボタンを数回押します。液晶ディスプレイにrdが表示され、スピーカーからラジオノイズが流れます。
- ③ラジオ選局ツマミを回してチューニングを行って下さい。



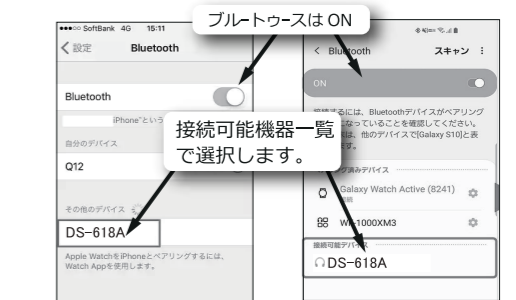
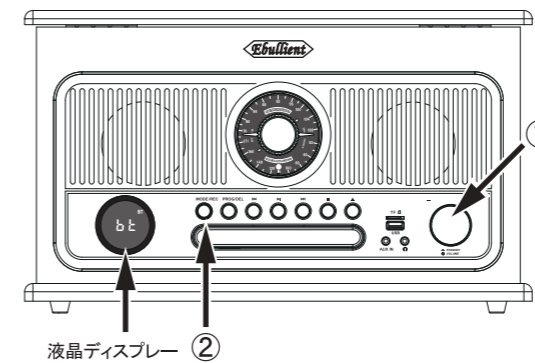
外部入力（AUX）の使用法

- ①前面パネルの「電源ボタン（音量ダイヤル）」を押して電源を入れます。ディスプレイが点灯します。
- ②9-1モード切替ボタンを数回押します。液晶ディスプレイにAUXが表示されます。
- ③スマートフォン、ラジカセ等外部再生機器に対応するケーブルで接続し再生します。

※必ず再生機器の音量を0にして接続して下さい。音量が大きいまま接続再生すると本機が故障する恐れがあります。



Bluetoothの接続方法

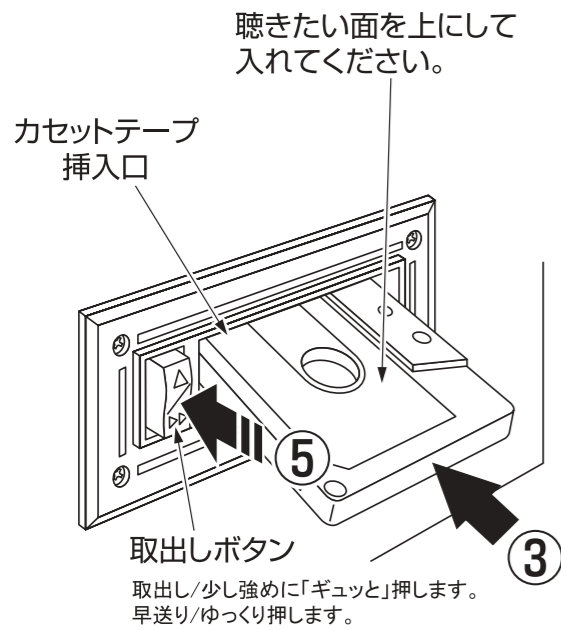


③ [参考] iPhone 設定画面 [参考] Android 設定画面

- ①前面パネルの「電源ボタン（音量ダイヤル）」を押して電源を入れます。ディスプレイが点灯します。
- ②9-1モード切替ボタンを数回押します。液晶ディスプレイにbtが表示されます。
- ③スマートフォンのBluetooth設定画面より「DS-618A」を選択して接続します（上図参照）
接続音が鳴り接続完了です。スマートフォン側で操作をして音楽をお楽しみ下さい。
- ④接続を解除する場合は、スマートフォンのBluetooth機能をオフにする、またはスマートフォンの接続機器一覧から「DS-618A」を削除する事で接続解除できます。削除した場合、再度本機で接続するには②から操作を行って下さい。

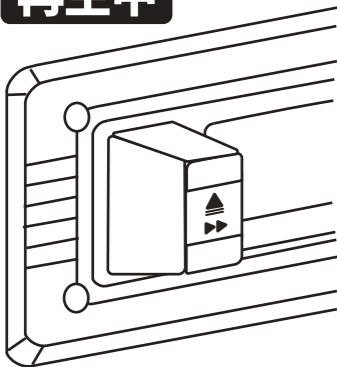
カセットデッキの使用方法（再生専用）

- 本機のカセットデッキは再生専用です。
- 本機のカセットデッキは巻戻し機能がありません。一度カセットを取り出しA⇄Bを入替えて早送りをして下さい。
- 本機のカセットデッキの性能はNORMAL(TYPE I)準拠です。ハイポジ(TYPE II)/Fe-Cr(TYPE III)/メタル(TYPE IV)のテープは再生可能ですが、音質やその他性能は発揮されずTYPE I準拠の再生となります。



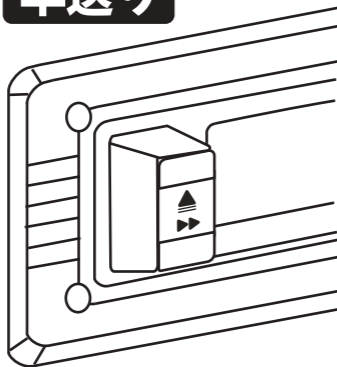
- ①前面パネルの「電源ボタン(音量ダイヤル)」を押して電源を入れます。「ディスプレイ」が点灯します。
- ②9-1モード切替ボタンを押します。カセットテープに切り替わると tA と表示されます。
- ③「カセットテープ挿入口」へ、聴きたい面を上にして図のように押し入れます。自動的に音楽を再生します。
- ④音量調整つまみを左右に回し、好みの音量でお聴きください。(リモコンの音量調整ボタンでボリューム+【音量大】、ボリューム-【音量小】で調整)
- ⑤入口の左側にある「取出しボタン」を押すとテープが早送りされます。テープを取り出すときは、さらに強く押すとテープが取り出せます。
※取出しボタンをゆっくり押すと早送りになります。

再生中



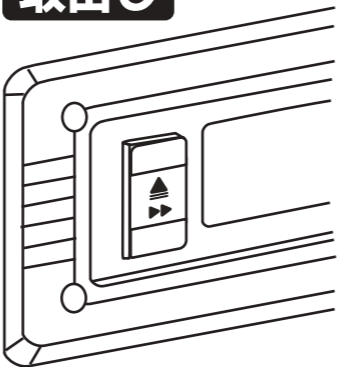
- カセットテープを挿入すると入れ違いに取出しボタンが2cm程度飛び出します。

早送り



- 再生中にボタンを軽く1cm程度押し離すとボタンが1cm程度出た状態で止まり早送り状態になります(無音)再度軽く押し離すとボタンが戻り再生が再開します。

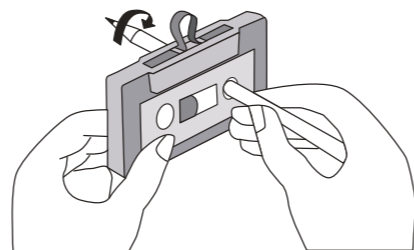
取出し



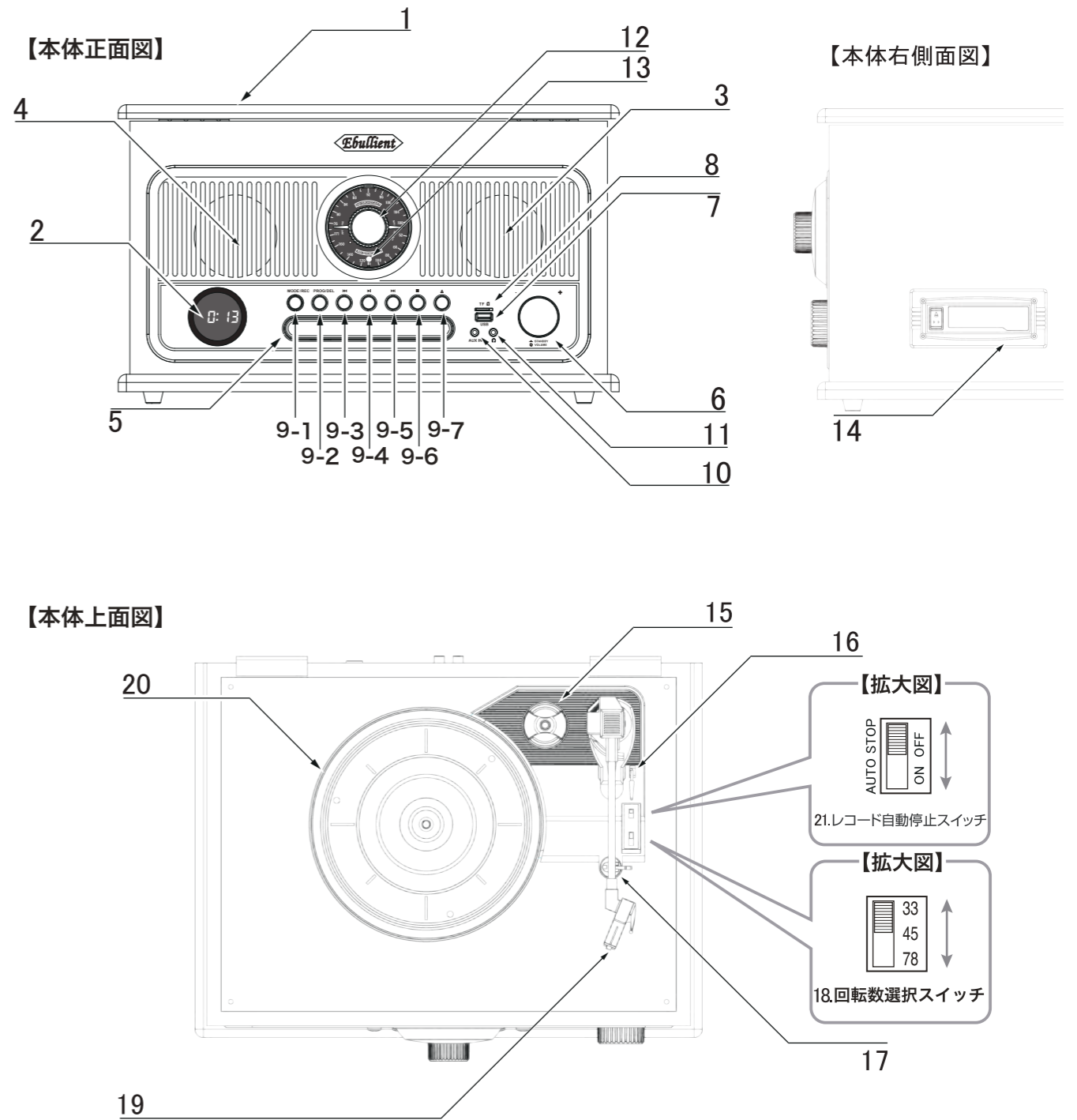
- 再生中にボタンを強く奥まで押し込みと入れ違いにカセットテープが1/3程度飛び出しますので手で引き抜いて下さい。本機のカセットデッキに停止ボタンはありません。カセットを取り出す事で再生を停止します。

注意

- 機器に入れる前に、テープをチェックしてください。ゆるんでいるとトラブルの元になりますので、片方の穴に鉛筆などを入れ、方向にしたがって軽く巻いて、ゆるみをなくしてから使用してください。
- 使用するテープは、C-30、C-45、C-60タイプをご使用ください。C-90、C-120タイプはテープが薄く、機器の安定性が悪いので、ご使用にならないでください。
※ノーマルテープのみをご使用ください。



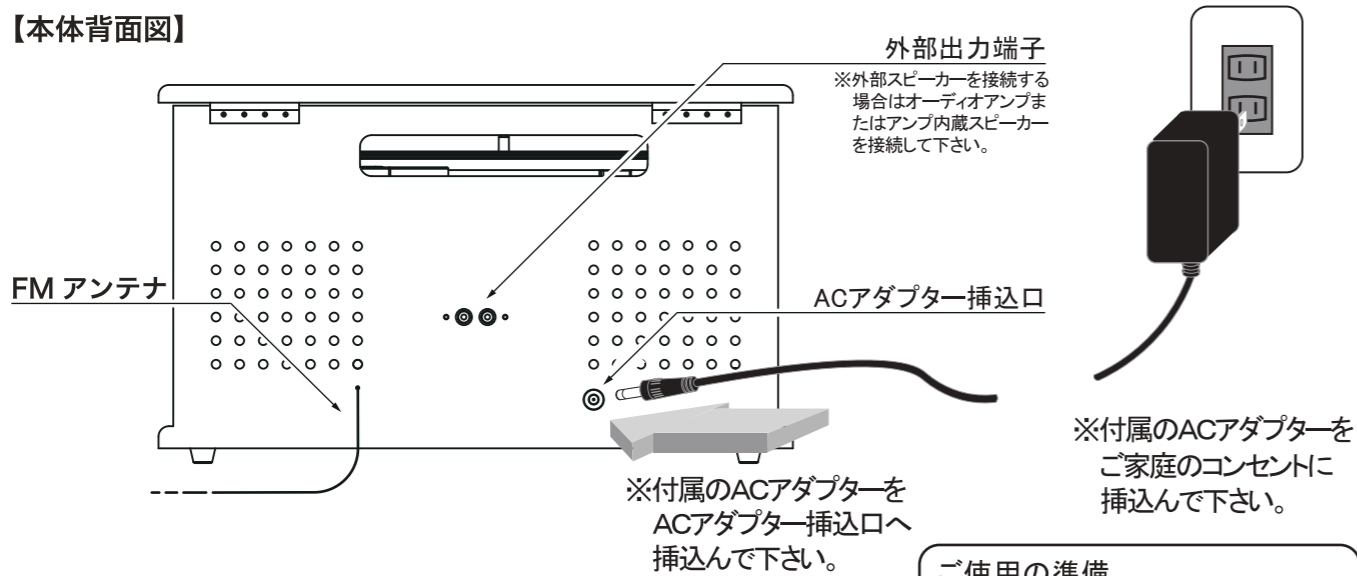
各部の名称



- | | | | |
|-------------------|----------------------|---------------|-------------------|
| 1. レコードプレーヤー・カバー | 9. CD/USB/SD操作部 ※左から | 10. 外部入力端子 | 18. 回転数選択スイッチ |
| 2. 液晶表示部 | 9-1. モード切替/録音ボタン | 11. ヘッドホン端子 | 19. アーム |
| 3. スピーカー (右) | 9-2. プログラム/削除ボタン | 12. ラジオ選局つまみ | 20. ターンテーブル |
| 4. スピーカー (左) | 9-3. 戻しボタン | 13. リモコン受信部 | 21. オートストップ切替スイッチ |
| 5. CDドア | 9-4. 再生/時計設定ボタン | 14. カセットデッキ | |
| 6. 音量調整つまみ/電源ボタン | 9-5. 送りボタン | 15. 45回転用アダプタ | |
| 7. USB挿入口 | 9-6. 停止ボタン | 16. アームリフトレバー | |
| 8. micro SDカード挿入口 | 9-7. 取出しボタン | 17. アームレスト | |

各部の名称

【本体背面図】



ご使用の準備 ACアダプターの接続

【リモートコントローラー】

電源

CD開閉

消音

▲/フォルダ上

◀◀ 戻り

▼/フォルダ下

音量-

プログラム

ランダム

リピート

(SD/USB)10曲送り

機能切替

停止ボタン

▶▶ 再生/時間設定

▶▶ 送り

音量+

録音

イコライザー

削除

(SD/USB)10曲戻り

Bluetoothペアリングボタン

【電池について】

本製品のリモコンで使用する電池は単四乾電池×2本です。お求めの際は型番をお間違えない様ご注意ください。

■電池の交換方法

- ①リモコン中央の爪を下げ蓋を開けます。
- ②下図を参照し電池の向きに注意してセットします。

※マイナスでバネを縮めてからプラスをはめます。

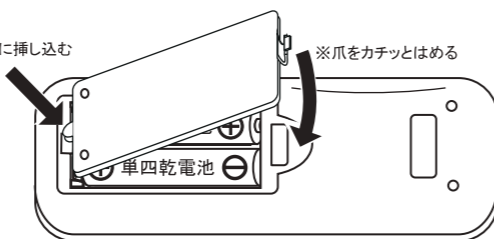


- ③蓋下部の突起を電池ケース下部穴に挿し蓋上部の爪をリモコン本体にカチッと合はめます。

※突起を穴に挿し込む

※爪をカチッと合はめる

→ 先端



便利な機能 (CD/USB/microSD共通)

■リピート機能 (リモコン操作)

CD/USB/SD 再生中または停止中にリモコンの a)REPEATボタン を押し1曲または全曲を繰り返し再生することができます。

【CD/USB/SD 再生中または停止中】

- 1回押す⇒1曲リピート (1)
- 2回押す⇒全曲リピート (∞)
- 3回押す⇒解除

■ランダム機能 (リモコン操作)

CD/USB/SD 再生中または停止中にリモコンの b)RANDOMボタン を押す事で収録曲を順不同に再生する事が出来ます。

【CD/USB/SD 再生中または停止中】

- 1回押す⇒ランダム再生 ON (RAN 点灯)
- 2回押す⇒ランダム再生 OFF (RAN 消灯)

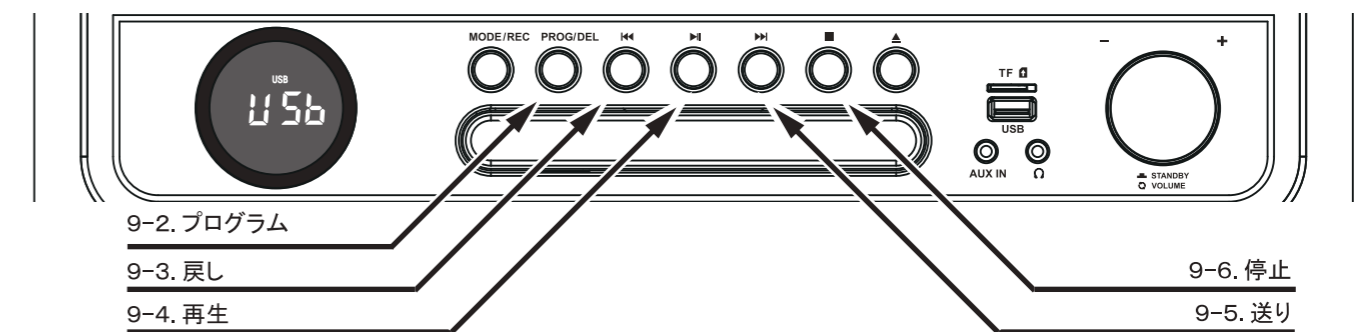
b)RANDOMボタン
a)REPEATボタン



■プログラム機能

本製品は CD/USB/SD の曲をお好みの順番に記憶させて再生する事が出来ます。CDの場合最大 20 曲、USB/SDの場合最大 99曲まで記憶する事ができます。

- ① 各機能の操作手順に従いCD/USB/SD を挿入します。
- ② CD/USB/SD を読み込み自動的に再生しますので**9-6)停止ボタン**を押して停止します。
- ③ **9-2)プログラムボタン**を押すと液晶ディスプレイに PROG マークとP01表示が点滅します。
- ④ **9-3)戻しボタン** または **9-5)送りボタン** を押し1曲目に登録したい曲を呼び出します。
- ⑤ **9-2)プログラムボタン** を押し1曲目の登録を完了させます。
- ⑥ 引続き液晶ディスプレイに PROG マークと P02 が点滅するので上記手順④⑤を繰り返し再生したい曲に登録します。※以下同手順
- ⑦ 設定が終わったら **9-4)再生ボタン** を押して、プログラム再生を開始します。
※プログラム再生中は**2)液晶表示部に"PROG"**が点灯しています。
- ⑧ 再生を停止する時は**9-6)停止ボタン**を押します。
- ⑨ もう一度 **9-6)停止ボタン** を押すと液晶表示部の**"PROG"**が消え記憶されたプログラムは消去されます。



Point!

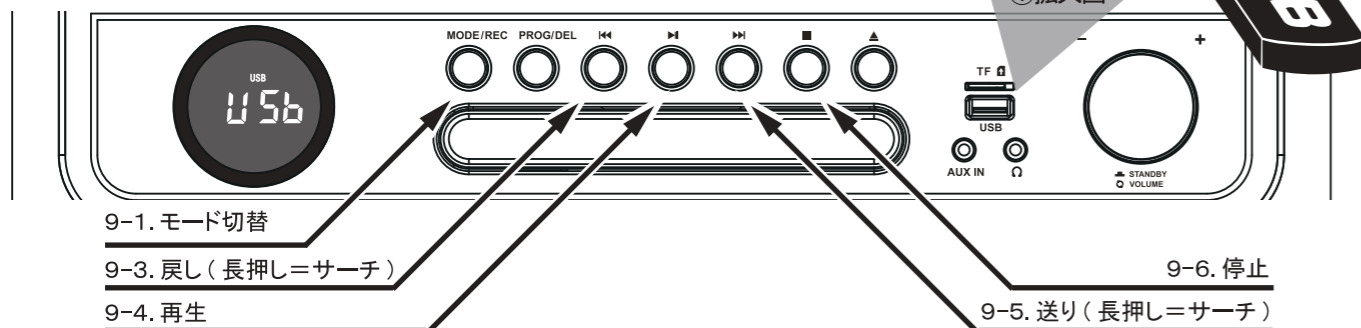
プログラムした状態で上記リピートを設定し併用する事が出来ます。プログラムとランダム、またはリピートとランダムを同時に使用する事は出来ません

USB/microSDの再生方法

■USB/SDの基本操作

- 爪で奥まで押込むと「カチッ」と音がして1mm程度出た状態で留まり録音・再生が可能になります。
- 再度爪で押込むと「カチッ」と音がして5mm程度出た状態になり、引き抜く事ができます。

●表裏に注意し、まっすぐ手で抜き挿して下さい。



9-1. モード切替

9-3. 戻し(長押し=サーチ)

9-4. 再生

9-6. 停止

9-5. 送り(長押し=サーチ)

本機または、パソコン等で録音・保存されたUSBメモリとSD/SDHCカード内のMP3ファイルを再生することができます。

■USBメモリーを聴く

- ① 本体USBポートに録音済のUSBメモリーを挿し込みます。
- ② 9-1 モード切替を数回押し液晶ディスプレイにUSBを表示させます。
- ③ USBの読取の間「---」点滅→読取完了すると全曲数表示→001の表示となり1曲目が再生されます。
※ USB内に再生可能なMP3ファイルが格納されていない場合、nOFと表示されます。
※ USBが挿されていない、またはUSBの故障等で認識されない場合はn0と表示されます。
- ④ 先のトラック(曲)飛ばす場合は9-5送りボタンを押します。再生中の曲の頭に戻す場合は9-3戻しボタンを押します。前のトラックへ戻す場合は続けて9-3戻しボタンを押します。
- ⑤ 9-3戻しボタンまたは9-5送りボタンを長く押し続ける事で音を聴きながらの早送り/早戻しが可能です。
- ⑥ 再生を停止する時は9-6)停止ボタンを押します。

■microSDカードを聴く

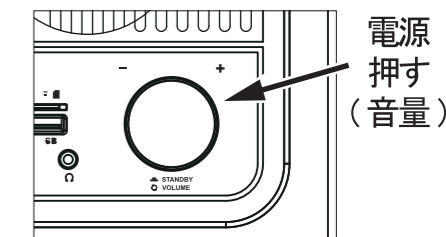
- ① 「TF」と表記されたmicroSDスロットにmicroSDカードを挿し込みます。
- ② 9-1 モード切替を数回押し液晶ディスプレイにSdを表示させます。
- ③ microSDの読取の間「---」点滅→読取完了すると全曲数表示→001の表示となり1曲目が再生されます。
※ microSD内に再生可能なMP3ファイルが格納されていない場合、nOFと表示されます。
※ microSDが挿されていない、またはmicroSDの故障等で認識されない場合はn0と表示されます。
- ④ 先のトラック(曲)飛ばす場合は9-5送りボタンを押します。再生中の曲の頭に戻す場合は9-3戻しボタンを押します。前のトラックへ戻す場合は続けて9-3戻しボタンを押します。
- ⑤ 9-3戻しボタンまたは9-5送りボタンを長く押し続ける事で音を聴きながらの早送り/早戻しが可能です。
- ⑥ 再生を停止する時は9-6)停止ボタンを押します。



※ファイル数の上限は999個です。
※本機のUSBメモリ/SDカード機能はMP3以外のファイル形式はサポート対象外となります。

【全機能共通】電源の入れ方

- 本機の電源は音量ダイヤルがボタン式になっており音量ダイヤルを押す事で電源の入り切りを行います。

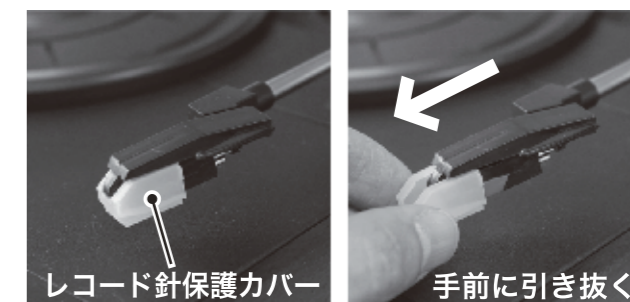


レコードプレーヤーの使用方法

■ご使用前に

- ① 1)レコードプレーヤー・カバーを開けます。
- ② 19)アーム先端のカートリッジに付いているレコード針保護カバーを外します。(右写真)
- ③ 再生するレコード盤の回転数に応じて18)回転数選択スイッチを設定します。
- ④ 20)ターンテーブルにレコードを置きます。
- ⑤ 17)アームレストの固定用のツメを外側に押し19)アームのロックを解除します。

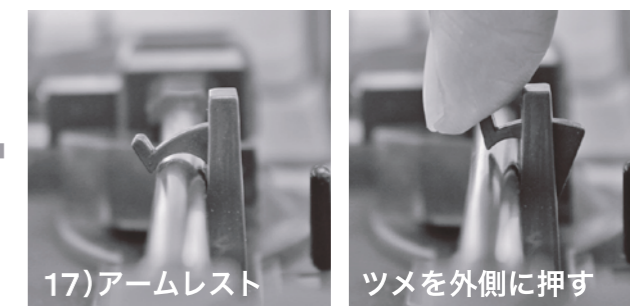
●レコード針保護カバーを外す



レコード針保護カバー

手前に引き抜く

●アームのロック解除



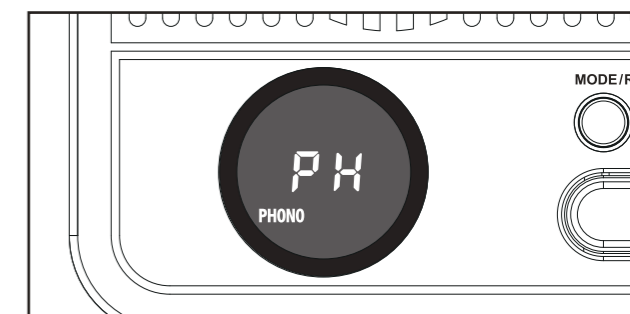
17)アームレスト

ツメを外側に押す

■レコードを聴く

- ① 9)CD/USB/SD操作部 9-1)モード切替/録音ボタンを押します。
※2)液晶表示部に“PH”と表示されている事をご確認ください。
- ② 16)リフトレバーを奥側に倒すと、19)アームが上がります。
- ③ カートリッジのつまみを持ち、19)アームをゆっくりとターンテーブル側に動かします。
- ④ 19)アームを任意の位置で合わせ、16)リフトレバーを前側に倒すと、針がレコード盤の上に下り、レコードが再生します。
- ⑤ 6)音量調整つまみを回し、ご希望の音量に調整します。
- ⑥ 再生を終了する場合は、16)リフトレバーを奥側に倒してアームを上げます。
- ⑦ 19)アームを17)アームレストに戻し、16)リフトレバーを前側に倒します。

●液晶表示



●アームの上げ下げ



16)リフトレバー



注意

※ご使用前に必ず再生するレコード盤の回転数をお確かめください。
※レコード盤のゆがみにより音飛び等、上手く再生しない場合があります。

■45回転アダプタについて

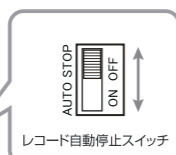
注意

通常の使用には、レコード自動停止スイッチを「入」側にしてください。演奏が終わるとターンテーブルは自動的に止まります。

しかし、EP(ドーナツ盤)や、SP盤を聴くときは、レコード盤の種類により、途中でレコードが止まることがありますので、レコード自動停止スイッチは「OFF」側でご使用ください。

P.5本体上面図参照

21. レコード自動停止スイッチ



ドーナツ盤等、真ん中の穴の大きなシングル・レコードを再生する場合は、付属の**15)45回転用アダプタ**を使用してください。



■レコード針について

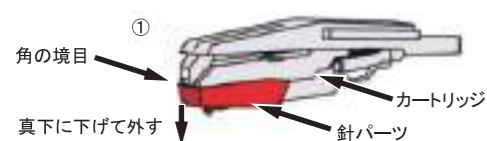
○針のお手入れ

柔らかいブラシ、筆などで針先に付いたホコリやゴミを取り除いてください。指先で行うと針先を破損する原因となります。

○針の交換

レコード針は長時間の使用により摩耗します。その様な状態で再生すると、針飛び等が起こりレコード盤を傷付ける等の問題が発生する場合がございます。本製品の場合、**約100時間**を目安に針を交換してください。 ※使用条件によってはこれよりも短くなります。

針の抜き方



① 黒いカートリッジを右手で押さえ、左手の爪もしくはマイナスドライバー等で先端の角の境目に引っかけて真下に下げ、赤い針パーツの先端を外します。



② 前方へ引き抜きます。

針の入れ方



① 矢印の部位を合わせるように、斜め下からカートリッジを入れます。



② パチッと音がするまで先端を上にあげ嵌め込みます。

○交換用針のお買い求め

破損や長期使用における経年劣化、紛失等の理由でレコード針をお求めのお客様のために「交換用レコード針」を販売しております。お求めの際は下記までお問合せください。

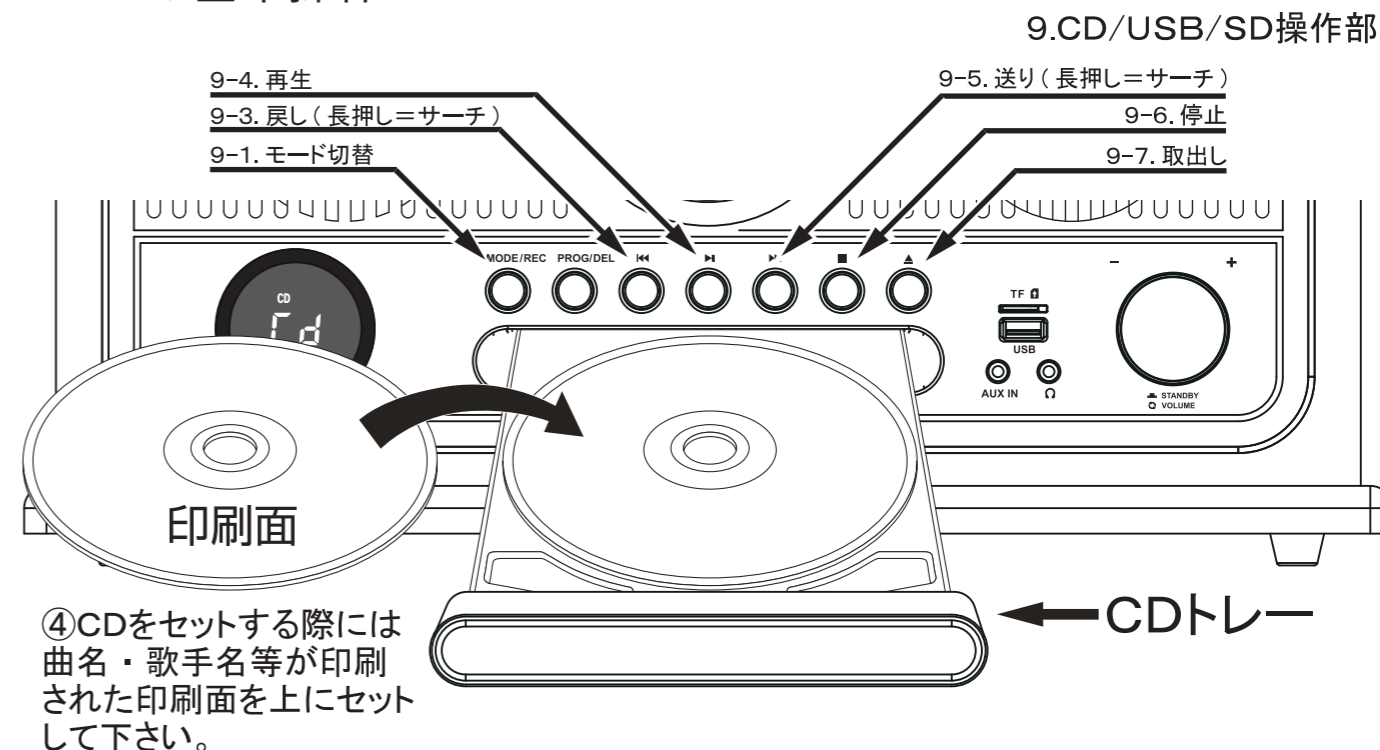
【直販サイト】<https://recordplayer-tohshoh.shop/>

価格(3個組セット):3600円(税抜・送料別)

品番:TO-106

CDプレーヤーの使用方法

■CDの基本操作



■CDを聴く

- ① 9-1) モード切替ボタンを数回押しCDに切替えます
- ② 2) 液晶表示部に Cd → NOと順に表示された事を確認します。
※CDがすでに入っている場合は Cd → 曲数表示となってから自動的に再生します。
- ③ 9-7) 取出しボタンを押してCDトレイを開けます。
※ 2) 液晶表示部には OPと表示されます。
- ④ お手持ちのCDをCDトレイに置き、9-7) 取出しボタンを押してCDトレイを閉じます。
※ 2) 液晶表示部には CLと表示されます。
- ⑤ CDを読み込み、自動的に再生します。
- ⑥ 先のトラック(曲)飛ばす場合は 9-5送りボタンを押します。再生中の曲の頭に戻す場合は 9-3戻しボタンを押します。前のトラックへ戻す場合は続けて 9-3戻しボタンを押します。
※ 9-3戻しボタン または 9-5送りボタン を長く押し続ける事で音を聴きながらの早送り/早戻しが可能です。
- ⑦ 6) 音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- ⑧ 再生を停止する時は、9-6) 停止ボタンを押します。



※本機のCDプレーヤーは、オーディオCD以外の形式はサポート対象外となります。